

「それぞれに最高の思い出」

富士登山（柳原・太田公民館合同事業）

7月28日午前4時30分、柳原・太田登山者一行は、日本一高い場所から、ご来光を眺めています。



小石だらけの下り道に悪戦苦闘しながらバスに着いたのは10時30分、帰りのバスは全員疲労困憊、何か話す気力すら残っていないようでした。



総勢32名（柳原15名・太田17名）は、飯山市を午前7時に出発し、午後1時には八合目（3400m）の宿泊施設を目指して登山を始めました。山小屋で夕食と仮眠をとり、翌28日早朝山頂を目指し再び歩き始めました。

残念ながら高山病で数名下山を余儀なくされた方もいましたが、半数以上が登頂に成功することができました。

山頂付近は、所々に雪が残り気温も0度、寒さと疲労のなか、雲海からご来光が昇ってきた瞬間は、これまでの苦労もすべて忘れ、感動すら覚えました。頂上を6時30分に出発し下山、

中越沖地震のあと心配が残る中での実施でしたが、この時季としては最高の天候でご来光も拝むことができ、それぞれに最高の思い出が残ったことと思います。



受講者募集！

- 第1回 10月3日(水) 伊藤千代子の青春
- 第2回 10月10日(水) 臼井吉見の『安曇野』
- 第3回 10月17日(水) 丸岡秀子・ひとすじの道
- 第4回 10月24日(水) 若き日の島崎藤村

四回コース 各回とも午後7時～8時30分
◎会場 飯山市公民館
◎定員 30名
◎受講料 1,000円(テキスト資料代別)
◎申込先 飯山市公民館(電話62-3342)
◎申込期限 9月20日(木)
(定員になり次第締め切りとさせていただきます。)



主催 飯山市総合学習センター

飯山雪国大学 文学セミナー

「信州の近代文学を探る」

講師

文芸評論家 元・飯山南高等学校校長

東 栄蔵 先生

飯山市勤労青少年ホーム 講座受講生募集！

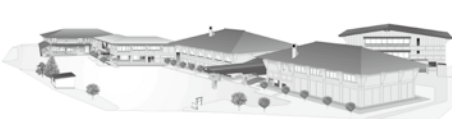
- 【対象者】 15歳～35歳までの青少年
- 【受講料】 無料(教材費実費は各自負担)
- 【申込期間】・ソーイングは10月1日(月)まで
・ハワイアンフラは9月3日(月)まで
(定員になり次第締め切ります。)
- 【申込先】 総合学習センター飯山市公民館 Tel. 62-3342
(申し込まれた方には、後日ご案内をお送りします。)
- 【会場】 飯山市勤労青少年ホーム(照里)

素敵にソーイング～生活に彩りのエッセンス！～

- ◆講師 八重田道子先生
- ◆日時 10/13,10/20,11/10,11/17,12/8,12/15
各土曜日 午後1時30分～3時30分
- ◆定員 15名
- ◆内容 ①アロマの香りのサッシュ ②小物入れ
③桜の花びらのコースター ④・⑤リメイクバック
⑥布花のコサージュ
- ◆教材費 1,000円

初めてのひと歓迎！“ハワイアンフラ”

- ◆講師 高橋祐子先生
- ◆日時 9/12,9/26,10/10,10/31,11/14,11/28
全6回 水曜日 午後7時30分～9時
- ◆定員 20名



「つづくまでに飯山っ子を」

小さい頃から伝統食の味覚を



総合学習センター飯山雪国大学第1回子育てセミナーが長野県農村文化協会役員の池田玲子先生を講師にお招きし開催いたしました。

講演前に池田先生が講師をされている「飯山食文化の会」のみなさんのご好意で、季節の旬のものを使った子どもに食べさせたいおやつということで「なすせんべい」を作っていたいたり、池田先生より「発芽米」と「なすの干し物と押し大豆の炒め物」を持ってきていただき受講生に試食していただきました。

講演では親は子どもと食卓を同じくして子どもに親の好みを伝達する必要がある。日本食の基本は「米・豆・大根」である。子どもの前でおいしそうに伝統料理を食べること、これが食文化を伝えるということにつながる。例えば、味噌や納豆、漬物は発酵食品の独特の癖があります



が、子どもの頃から親がおいしそうに食べていけば興味が湧くが、まったく食卓に並ばない物に対しては食べる事ができないので普段から食卓に並べて食文化を伝えてほしい。親も子どもといっしょに料理しながら、食べ物にまつわるいわれなどを教えていくと子ども達の興味も湧いてくるし、自分たちで作るとおいしさが違うので、ぜひ小さい頃からそのような体験をさせてほしい。一つから九つまでに伝統食の味覚をしつかり教えていくことが大切であるという話をされました。

受講生からは、今までの食生活を見直すきっかけができてよかった、食生活は幼児期がとても大切なことを改めて実感したなどとても好評でした。

「幸せをよぶ鳩」

大深の通称「五輪坂」の川原辰男さん宅の敷地には、北信随一の大きさを誇る五輪塔(飯山市有形文化財・H4)が建立されています。このお宅に一羽の手乗り鳩が同居しています。名前はピーコ。

ピーコは5年前、市民会館屋根の改修時に川原さんが現場で保護、今では子供・家族同然に育てています。



も興味がなく、川原さんから離れません。田へ行くときも一緒に付いて来て、終わるまでその場に居てまた一緒に帰るのだそうです。家の前を通る人たちにも愛嬌をふりまき多くの人達を和ませてくれています。

飯山一の鳩と慈愛する河原さんのお宅には、幸せな空気が流れているようでした。

太田公民館主事 島崎